

各区社保協が総会を開催

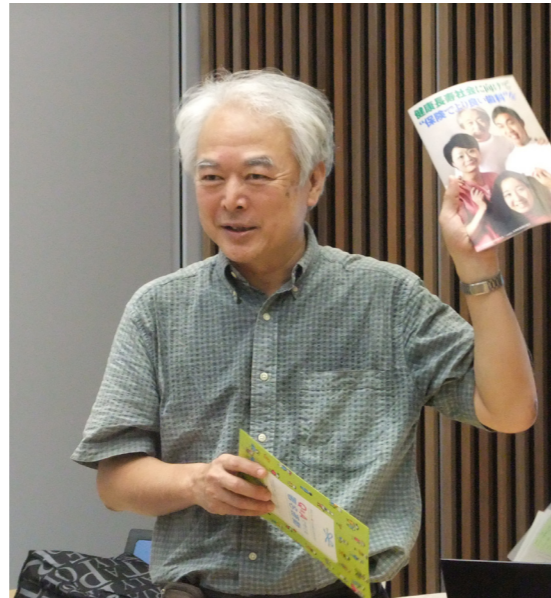
社会保障の改善へ 各団体の活動を交流

神戸市各区の社会保障推進協議会(社保協)で総会が開催されている。

政府が4月に消費税を8%へと増税して国民にさらなる負担を強いていることに加えて、医療介護総合法を強行採決するなど、社会保障の削減を進めようとしている情勢のもとで、構成団体の多彩な活動を交流するとともに、社会保障拡充のための運動を地域から盛り上げていく必要性が強調された。

各区で総会とあわせて、様々なテーマでの学習会も開催された。7月20日に行われた北区社保協総会では藤末衛評議員が医療介護総合法の問題点と今後の運動について講演。また、7月19日に行われた垂水区社保協総会では加藤擁一副理事長が子ども医療費の無料化の実現に向けて、受診抑制の実態や全国的な運動の前進について講演するなど、協会・神戸支部としても総会の成功に協力した。

役員改選では、加藤擁一副理事長が須磨区社保協代表幹事に、宮武博明協



協会の歯科パンフについて説明する
加藤擁一副理事長(須磨区社保協総会)

会理事が垂水区社保協会長に、それぞれ再任された。

協会・神戸支部でも今後大型宣伝企画や会員署名などの運動に取り組むこととしており、引き続き社保協に参加し地域の住民や団体と連携して活動を進めていく。



開業医手作り 健康情報テレホンサービス
月替わり健康情報 ☎ 0120-979-451

9月のテーマ

- 月曜日 高年齢出産へのアドバイス
- 火曜日 定期歯科検診のすすめ
- 水曜日 ぎっくり腰の話
- 木曜日 ED治療の話
- 金土日 ホクロと黒色腫(こくしょくしゅ)

10月のテーマ

- 月曜日 受験勉強に役立つ話
- 火曜日 高齢者・障害者の日常生活用具
- 水曜日 インフルエンザの予防
- 木曜日 いびきは病気?
- 金土日 最近の床ずれの治療について
患者さんにオススメください!

兵庫県保険医協会

272号 2014年8月25日

神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

高すぎる国保料の引き下げを!

国保相談会に131件の相談

相談者の3割が軽減見込みに

協会神戸支部も参加する社会保障推進協議会(社保協)神戸市協議会は、6月下旬に神戸市各区で国保相談会を開催した。131件の相談が寄せられ、3割が軽減の見込みとなった。

国保相談会は毎年、国保料の支払い通知が送付される6月に、各区ごとに行っている。今年は西区を除くすべての区で開催され、131件の切実な相談が寄せられた。そのうち約3割の41件で軽減が見込まれるなど、本来あるべき保険料よりも多くの額が徴収されているという実態が浮き彫りとなった。

今年は神戸市の国保料算出方法が、昨年までの「住民税課税標準方式」から、「基礎控除後所得方式」へと変更になり、加入している約24万世帯のうち、低所得者層を中心として約4万世帯で負担が増えた。ただでさえ負担が重く、支払いが困難になりがちな国保の負担がますます増している。また、今年は経過措置として、住民税所得割非課税措置が適用されている家庭には独自控除がされているが、2年後に廃止されることが決定して

2014年 月 日

神戸市長様

国民健康保険料の引き下げを求める要望

氏名	神戸市 区
住所	

私は、高い国保料に苦しんでいます。国保料を払うために家族の生活を犠牲にしなければならぬ始末です。国保料を支払うことに、その高さにいつも怒りを覚えています。

国保制度は、国保法第1条でうたわれているように社会保障であり国民の健康の維持向上のための国民皆保険であるはずですが、しかし国保料を払うために四苦八苦しなければならぬのでは、国保法の趣旨に反するのではないのでしょうか。

「福祉重視」を強調する市長の姿勢を国保行政に貫いていただき、誰もが払える国保料に引き下げてください。

なお、「市長への手紙」としての要望ですのでご返事をください。?

○要望事項—高すぎる国民健康保険料を引き下げてください。

わたしのひと言

「市長への手紙」に102通の切実な声

いる。今後さらに国保加入者の負担が増大することになる。

社保協神戸市協議会は、国保料の引き下げとともに、公費負担を増やすなどの抜本的な保険料軽減制度を求めて運動に取り組んでいる。今回の国保相談会の会場では、相談に訪れた市民に対して「市長への手紙」一筆署名を呼び掛け、102筆の声が寄せられた。

会 員 投 稿 かざみどり通信 15



『原水爆禁止2014年世界大会』と『広島平和記念式典』に参加して

北区・川西 敏雄 先生

はじめに

毎年兵庫協会は上記式典と大会に出席しています。今回は、加藤副理事長、明石市・榎林歯科スタッフ2名、事務局3名、私といった布陣で参加しました。

“広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式”

今年は被爆69年を数えます。台風12号の影響により、43年振りの雨天での開催となりました。

式辞を確井広島市議会議長、平和宣言を松井広島市長のほか安倍首相、湯崎広島県知事、アンゲラ・ケイン国際連合事務総長代理、小学生による平和への誓いなどの挨拶がありました。特に松井市長は安倍首相を前に「唯一の被爆国である日本政府は、我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増している今こそ、日本国憲法の崇高な平和主義のもとで69年間戦争をしなかった事実を重く受け止める必要があります」「また、被爆者はじめ放射能の影響に苦しみ続けている全ての人々に、これまで以上に寄り添い、温かい支援策を充実させるとともに、『黒い雨降雨地域』を拡大するよう求めます。」と平和宣言、しかしそれに対する安倍首相の挨拶は、今年の挨拶を「コピペ」するなど、極めて中味の乏しい内容でありました。



原爆の子の像の前に折り鶴を捧げる参加者
左端が加藤擁一副理事長、右端が川西敏雄副理事長

“原水爆禁止2014年世界大会”

4日開会総会、5日フォーラム・分科会、6日閉会総会と三日間開催されました。4日には兵庫県代表団会議、5日には保団連懇親会も催されました。分科会などは18会場に分かれ盛会となりました。私は“核兵器と原発”分科会に出席しましたので、以下その概要を報告致します。

“分科会・核兵器と原発”

ライナー・ブラウン氏(国際平和ビューロー会長・ドイツ)より、今年3月より
----- (3面に続く)

(2面から続く)-----
ドイツでは電力がすべて自然エネルギーとなったと報告がありました。ドイツは他国から電力を調達しているのでは?との質問にはきっぱりと、「It's a big lie!」。

吉井英勝氏(元衆院議員・NER代表)より、核兵器である原爆などの総数が数万を数え飽和状態となり、原発はその兵器産業の後釜として据えられた。核の平和利用と称して原発が日本に持ち込まれた、など核の歴史について説明がありました。

福島敦子氏(南相馬市からの避難者)より、現在京都に避難中で、原発賠償京都訴訟にご支援を!と訴え。

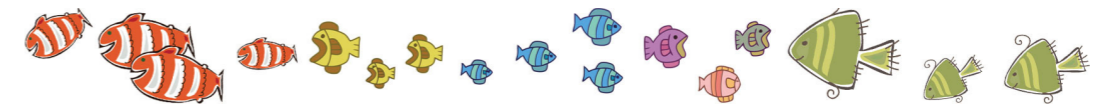
紺谷克考氏(函館市会議員)より、大間原発に絡み、自治体訴訟並びに住民訴訟と、大間原発建設予定敷地内で用地買

収に応じず建設中止などを訴えている住宅「あさこはうす」の現状について説明がありました。

まとめ(感想)

被爆をされた方々が当然ながら高齢化し多く亡くなっている。被爆賠償に関して郷地副理事長も奔走されているのは周知の事実です。しかし政府は控訴を繰り返し、あたかも死人に口なしを狙っているように強く感じます。松井市長が平和宣言で訴えたわけですが、安倍首相には社会的弱者を見る目が付いていないのではとまで思いました。

次回は70回を数えることとなります。来年もたとえ一日参加でもいいので、多く参加があればと感じました。



支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。



電話 078-393-1807/FAX 078-393-1802 e-mail kuriyama-h@doc-net.or.jp 担当; 栗山まで

協会ホームページをご活用ください!

<http://www.hhk.jp>



協会はホームページで行事のご案内や研究会の抄録、県下各地の活動やニュースなど多彩な情報を発信しています。

診療報酬改定の特設サイトも設置し、最新情報をいち早くお知らせしています。また、Q&Aの掲載やWebでの問い合わせ受け付けもご利用いただけます。

ぜひご活用ください。